

視察等報告（復命）書

三次市議会議長 様

報告者氏名 小田伸次

下記のとおり、視察が終了したので報告します。

	会派代表者	小田伸次	経理責任者	藤井憲一郎
視察議員	新家・藤井・弓掛・月橋議員			
期 間	平成 4年 11月 14日（月）～平成 4年 11月 15日（火）			
視 察 先	ハレとケデザイン舎・室戸廃校水族館			
視 察 用 務	廃校の有効利用			
視察先対応者	ハレとケ店長・水族館館長			
概要及び所見	<p>・東京のデザイン会社が祖谷溪谷界隈にある廃校の再利用で、軽食(コーヒーとピザ)と宿泊施設としてリホーム。自然を体感できるサウナを併設して都会の雑踏から逃れ癒しを求める来客を迎えている。</p> <p>ここは、近くに祖谷溪谷(カズラ橋等)がありそこから回って来るお客さんが望めるのと、山間に在る廃校なので人目も気にならないし眺望もまあまあでした。静かな環境とゆっくりとした時間の流れを求める人を呼ぶには、周辺環境(祖谷溪谷等)との関係がなければこの事業は難しいと感じました。</p> <p>・目の前が太平洋という立地にある廃校を水族館に再生した施設で指定管理料は無し。珍しい魚がいるわけではなく、地元の漁師さんの協力のもと近郊で採れる魚を工夫して展示しているプールではシュモクザメやウミガメが泳ぎ、なんとなく親近感を覚えた。餌やりのエサの販売や売店等も工夫したりして売り上げを確保して人件費に充てていた。マスコミへの情報提供は特に行わず、SNSなどでの情報拡散を上手く利用していた。また、館長の情熱が素晴らしかった。全国のマスコミが注目するのもわかる気がした。廃校の再利用(管理運営)を考える時にはとても参考になる施設である。ただ、行政の決断と議会の理解力がとても重要である。館長もそのことは話されていた。アイデアと情熱がキーワード。</p>			

令和4年11月28日

三次市議会

議長 山村 恵美子 様

三次市議会 会派ともえ

新家 良和

会派代表者 小田 伸次 経理責任者 藤井 憲一郎

会派ともえ行政視察報告書

- ◆視察日程：R4年11月14日（月）～15日（火）
- ◆視察先：徳島県ハレとケ珈琲、高知県むろと廃校水族館
- ◆視察内容：廃校活用と地域振興について
- ◆視察者：小田伸次、弓掛元、藤井憲一郎、月橋寿文、新家良和
- ◆旅費明細：旅費明細等は、別途報告済み
- ◆視察所感：視察内容について考察する

1. 廃校活用と地域振興について

三次市に於ける廃校活用が決して上手く機能していると思えないことから、先進的な取組を行っている徳島県三好市の「ハレとケ珈琲」と高知県室戸市の「むろと廃校水族館」の取組を、今後の参考とするため視察した。

(1) ハレとケ珈琲（徳島県三好市）

「ハレとケ」とは、非日常と日常という意味と伺った。児童数の減少で2005年に休校、2013年に廃校となった出合小学校を、必要最小限のリノベーションで2014年にカフェとしてオープンしている。代表者は、三好市の廃校活用募集に応募し、移住を決意しオープンに繋げている。

なるべく既存の学校の姿を残し、懐かしさとカフェ感を意識した空間を作り出している。山間の学校に泊まるという体験をするため、教室に小さなベットを6つ配した部屋と、寝袋持参でアウトドア気分を楽しむキャンプスタイルの部屋の二つの教室があった。その他の教室の大半は、使用されておらず老朽化したままであった。我々は、手ごね生地のピッツアと手網焙煎の珈琲で昼食をとったが、非日常の中で新鮮さを感じた。

道が狭くアクセスが悪いにも拘わらず、我々の滞在中に5、6名女性客が来場した。このような環境は、比較的若い女性に人気があると思える。移住を決意した代表者やスタッ

フは、いずれも若い女性であった。資料も説明もなかったため、詳細については良く分らないが、廃校の一部活用や地域との連携も希薄であり、地域振興の観点からは不十分と感じた。

(2) むろと廃校水族館（高知県室戸市）

「むろと廃校水族館」は、室戸市室戸岬町にあった旧椎名小学校（2006年廃校）をリノベーションして作られた水族館である。学校を彷彿とさせる屋外プールや机、椅子はそのままに、「みんなが通える学校」というコンセプトのもと2018年オープンしている。

室戸市は、県の中心地である高知市から車で約1時間半かかり、立地的には不便なところである。過疎化は進行し子どもの数も減り、廃校は増加の一途をたどっていた。どうにか廃校を活用したい市は、活用する個人や団体を公募。結果としてNPO「日本ウミガメ協議会」が運営管理を行うこととなり、現館長の若月氏は協議会のメンバーの一人だったと伺った。

オープンまでには、多くの反対意見があったと聞かされた。「人が来ない赤字施設を更に増やすのか」と、議会からの反発もあったそうである。また、「むろと廃校水族館」というネーミングに、卒業生や市民から多くの反対意見があったと言われた。市長の方向付けと若月館長らの熱意が、それらを説得させたと思う。若月館長に館内を案内して頂く間も、水族館に対する熱い思いと自信を感じさせられた。

展示する魚等の種類は決して多くはないが、校舎を生かしたユニークな展示に驚いた。25mプールを利用した屋外の大水槽の中には、シュモクザメの他にサバ、ウミガメ、シイラも飼育されている。廊下には長い水槽や、教室は勿論理科室の試験管にはタツノオトシゴが飼育されていた。手洗い場をリノベーションしたタッチプールと呼ばれる水槽では、ヒトデやナマコを実際に触ることができ、子どもたちに大変人気があるそうである。また、海洋汚染が世界的に問題視される中、室戸沖で回収されたゴミやカメや魚の胃の中から見つけたものを展示することで、海の現実を知ることができると問題提起をしている。そのほか、学校施設を利用した工夫された展示に興味を覚えた。

水族館は、地元漁師の定置網漁でかかった魚や職員が釣った魚など、室戸で集めた室戸の生き物だけを展示をしており、地元漁師の協力が水族館の運営に大きく寄与していると感じた。また、地元の漁協や地域との連携の強さも感じた。校舎のリノベーション3.5億円を含む水族館の総事業費は、5.5億円と伺った。水族館としては、最小の投資と思える。備品等は全て貰い物で賄っており、無駄な経費はほとんど使っていない。広告宣伝費など一切使わず、口コミとSNSで話題となり人気の水族館になっている。TV局の取材も多く、私も一度全国放送での放映を見た経験がある。

市からの指定管理料はゼロであり、入館料とグッズ販売が主たる収入源である。スタッフ6名は全て県外の人と伺った。よそから室戸に移住し、地域に溶け込み魚の飼育等水族館の運営に尽力されている。人口僅か1.1万人の室戸市に、水族館開館4年7ヶ月で5

2万人の来館者を数えている。「人が来ない赤字施設を更に増やすのか」と反対していた人達が今は何も言わなくなったと、若月館長は自信に満ちた発言をされた。新しい事業を行う場合、周囲の多くの反対意見があっても、それが正しいと思えば一生懸命説得するような、熱い思いを持ったリーダーシップのある人材が必要であると改めて感じさせられた視察であった。

三次市はH16年の合併以来、11の小学校（分校含む）が廃校となっている。この中で廃校後上手く活用できているのは、灰塚小学校を改修し三良坂保育所として活用しているのを含め、3校程度に過ぎない。地元自治活動や交流行事等で利用しているのが大半であり、三良坂小学校に至っては、全く予定もない。また、現在5つの小学校が完全複式となっており、近い将来統廃合が予測される。これらも含め、三次市として廃校の利活用をどのようにするのか、方向付けが必要である。

公共施設等総合管理計画の中でも、具体的な方向は見えてこない。廃校の一部を中途半端な形で利活用するだけでなく、全体をどうするか具体的な計画策定が必要である。市外の方に田舎の良さを満喫してもらい場所を提供するのであれば、「ハレとケ珈琲」も参考となる。多くの観光客を呼んだり地域振興に寄与するためには、「むろと廃校水族館」も参考となる。いずれにしても、首長のリーダーシップと担当部局の熱意が必要である。

以上

研修等報告（復命）書

三次市議会議長 様

報告者氏名

弓掛 元

下記のとおり、研修が終了したので報告します。

	会派代表者	小田 伸次	経理責任者	藤井 憲一郎
視 察 議 員	会派ともえ 弓掛 元			
期 間	令和4年11月14日～15日			
研修先	ハレとケ珈琲 むろと廃校水族館			
研修要務	廃校を利活用した先進事例を学び本市で活かせるかを考察			
研修講師	ハレとケ珈琲社員様 むろと廃校水族館 館長 若月 元樹様			
概要及び所見	<p>ハレとケ珈琲は三好市池田町の本当に険しい山にあった旧出合小学校を利活用したカフェ兼ゲストハウスであった。辺境地を逆手に取った施設で流行りのサウナ風呂も完成していました。非日常を求めて若者を中心に流行っていました。</p> <p>むろと廃校水族館は長年にわたり放置された旧椎名小学校を水族館にするという突拍子もないアイデアで室戸市の一大観光施設になっていました。何よりも素晴らしいのは指定管理料なしで運営されている事です。スタッフ6名が凄いアイデアを捻りだし運営、集客、収入増、広報を低料金又はコスト無しで最大限の成果をあげておられました。民間での運営の凄さを改めて感じました。</p> <p>これらの事例は本市においても大変参考になります。3セク等、市が出資している団体などで収益性に苦しんでいる経営に活かせると考え、提案して行きたい。</p> <p>又、今回の視察の主目的である廃校の利活用にも大変参考になります。これらの事例を本市でも如何に活かせる研究して行きたい。</p>			

視察等報告（復命）書

三次市議会議長 様

報告者氏名 藤井 憲一郎

下記の通り、会派による視察が終了したので報告します。

記

視察議員 (会派ともえ) 新家良和 小田伸次 弓掛元 藤井憲一郎 月橋寿文

期間 令和4年11月14日(月)～令和4年11月15日(火)

視察先 ① 徳島県三好市「ハレとケ珈琲」② 高知県室戸市「むろと廃校水族館」

視察用務 廃校利活用の成功事例を学ぶ

視察先対応者 ① 植本修子代表 ② 若月元樹館長

概要及び所見

①「ハレとケ珈琲」は、三好市池田町の山岳部の廃校「旧出合小学校」を、外観や内装を最低限改修しカフェ、ゲストハウス、サウナを備えた施設です。

乗用車の離合も困難な急登坂な山道を登る必要がありますが、驚いた事に次から次へと来客があります。山奥の廃校という「非日常」がキーとなっている事は確かです。あわせて店内では、試験管に入った各種銘柄のコーヒーから好みを選び、自らドリップする作業が理科室での実験を思い出させる工夫もされていました。

少々オペレーションに難はありましたがそれはご愛嬌程度で、山々に囲まれてゆったりとした時間が過ごせます。

私の地元の旧三良坂小学校と構造も似通っていますので、築年数も同等だと思います。やれ「耐震が」それ「安全性が」という話にはなりますが、本市でもチャレンジャーを募る事は出来ないのか、提言していきたい。

②「むろと廃校水族館」は、室戸市室戸岬町の廃校「旧椎名小学校」を改修した施設です。反対意見の多い中、当時の市長の決断によってリノベーションされ、高知県の東端という不便な地でありながらも、開館5年弱で52万人の来館者を集めている。総事業費は5億5千万であるが、地元漁師と提携しているので展示する魚にお金はかからず、海水は目の前の太平洋から引き、公募で決

まった運営母体「日本ウミガメ協議会」は基本的に研究者の集まりで、ネットワークが広いという事等が成功の要因だと考える。

加えて運営については、あくまで学校としての内装はそのままで展示を工夫する事や、目の前の海で獲れたものしか展示しないスタイルを徹底し、お土産やグッズ販売で運営し補助は貰っていないとの事であった。宣伝も一切しない主義ではあるが、マスコミの取材が多くあるのでトラブルも広告と逆手に取っている。

25mプールを悠然と泳ぐ大型のサメやブリ、ウミガメの姿に、成功も納得であった。

本市にも未利用の廃校は多くある。自身も過去に一般質問で問うた事があるが、可能性を探り、方向性を示す強烈なリーダーシップが必要であると思う。

視察等報告（復命）書

三次市議会議長 様

報告者氏名

月橋寿文

下記のとおり、視察が終了したので報告します。

	会派代表者	小田伸次	経理責任者	藤井恵一郎
視 察 議 員	会派ともえ議員5名 新家・小田・弓掛・藤井・月橋			
期 間	令和4年11月14日（月）～ 令和4年11月15日（火）			
視 察 先	1 ハレとケ珈琲 2 むろと廃校水族館			
視 察 用 務	廃校を利活用した取組について調査			
視察先対応者	1 植本修子 代表 2 若月元樹 館長			
概要及び所見	<p>1 徳島県三好市の山奥の廃校（旧出会小学校）をカフェに改修されて営業されています。できるだけ既存の学校の姿を残し、懐かしさとオシャレを融合させていて、ピザも本格的、珈琲は自分で好きな味を選び、理科の実験のような道具でお湯を注いで作ります。</p> <p>現在、コロナ禍ということで、宿泊・サウナ・露天風呂は営業していませんでしたが、教室に寝泊まりしたり、誰もいない山奥で外お風呂に入ったり、サウナを楽しんだり、なかなか経験できない遊びなので、口コミでお客様は来られると感じました。</p> <p>2 旧椎名小学校を改修し「むろと廃校水族館」として、平成30年4月26日にオープンされています。室内だけでなく、外のプールにもウミガメやサメなど様々な魚が泳いでいますが、地元の漁師さんと提携して、網にかかった魚を定期的に、無料で届けてもらい、新鮮な魚と入替をされているようです。職員さんは、魚の研究をしたい方たちが、全国から集まってきて働かれています。</p> <p>まず、感心したのは、正面入口を入ると、お土産コーナーがあり、館長さんが、最初に「ここのお土産の売上が私たちの給料となっています。この施設は、指定管理料をもらっていません。」と言われました。この言葉を聞くと、お客様は絶対に、お土産を買われます。お土産ランキング1位は、ブリやサバのぬいぐるみです。くじ引きで、大きさが変わります。また、ここでしか買えないものが沢山あります。入場チケットの魚の種類も毎日変える、おむつの自動販売機、お客様が水槽の水滴を拭く飼育員らしくシステムなど、面白いと思ったことはすぐにやる行動力が素晴らしいと感じました。</p>			

	<p>この度の廃校を利活用した取組についての調査では、共通して、「普段できない楽しい体験をお金に変えている」ということでした。</p> <p>もののけミュージアム・君田温泉や廃校利活用に応用できることとして</p> <ul style="list-style-type: none">・ 普段できない体験の追加・ 知識と行動力を持った運営者の選任・ アミューズメントパーク感の向上・ オリジナルグッズの充実 <p>これらのことを早期に実行して三次の観光を盛り上げる必要があります。</p>
--	---